

2020年第2回 VLBI 懇談会役員会議事録

日時：2020年3月27日（金） 13：00-15：00 Zoom 会議

出席者：小林、小川、土井、寺家、秦、中村、川口、藤沢、中川、岳藤、今井、関戸、
新沼 （順不同、敬称略）

議題

○国立天文台 運営会議委員の自主推薦について

従来は来ていた国立天文台からの運営会議、科学戦略委員会、プロジェクト評価委員会、研究交流委員会の委員推薦が今期は来ないことへの対応について審議を行った。大学共同利用機関としての国立天文台にとってコミュニティの意見を聞くことは重要であるとの観点から、すでに決定されていると考えられる運営会議の委員も含めて、これらの委員会の委員を VLBI 懇談会として自主的に推薦を行うことを決めた。

○国立天文台 科学戦略委員会, プロジェクト評価委員会, 研究交流委員会委員の推薦者の決定について

各委員会の国立天文台規約および現状の役割を確認したのちに委員に求められることなどの審議を行い、投票の結果、

- 運営会議委員 藤沢健太（山口大学）
- 科学戦略委員会 高橋慶太郎（熊本大学）、新沼浩太郎（山口大学）、今井裕（鹿児島大学）
- プロジェクト評価委員会 米倉覚則（茨城大学）、今井裕（鹿児島大学）
- 研究交流委員会 中川亜紀治（鹿児島大学）、元木業人（山口大学）

の推薦を決めた。

○国立天文台への推薦書について

上記の審議を踏まえて、国立天文台に送る推薦書について原案をもとに審議を行った。基本的には了承し、28日（土）中にコメントを事務局に送付、最終的に事務局において取りまとめて、30日（月）までに送付することとした。

○将来計画 WG の設立について

新沼委員から将来計画 WG の活動状況（第1回目の会合の開催など）の報告があった。将来計画 WG の設立を役員会として確認するとともに、メンバーについて各分野で PI を決めて PI によってメンバーを増やして行くこと、WG の設立を VLBI 懇談会会員に周知し、参加希望者を併せて募ることについて了承した。また、国立天文台 VLBI 科学諮問委員会との役割の違いについて議論があり、VLBI 科学諮問委員会

は、水沢 VLBI 観測所の科学目標、達成状況などについて審議を行い、本 VLBI 懇談会将来計画 WG は、VLBI コミュニティの支持のもと、日本における VLBI 全体の将来計画を議論するものであるとことを確認した。

○過去の WG の整理について

VLBI 懇談会 HP 上に VLBA 問題検討ワーキンググループ、共有ソフトウェアワーキンググループが存在するが、それらの役割はすでに終了している。役員会としてこれらのワーキンググループの終了を了承し、HP 上では過去のワーキンググループという形にすることにした。

報告事項

- 鹿島の TDC シンポジウムについては、コロナウイルスの問題があり、延期となった。
- 国立天文台への VERA 早期終了について質問書を送ったが、まだ回答は得られていない。
- 国立天文台水沢 VLBI 観測所に 2020 年度の予算内示があり、VERA1 局の運用のための経費として予算額が査定された。